

ラダーゲッター

日本レクリエーション協会が、親子3世代にわたって家族で楽しめるレクリエーションゲームとして開発したニュースポーツです。



時期	通年	所要時間	1～2時間	人数	60名以内
対象	幼児以上	活動場所	プレイホール、アセンブリホール、第一研修室、中央ホール		
準備物	自然の家で貸し出す物		団体・個人で準備する物		
	ラダーゲッター一式 ビブス(必要に応じて)		□汗拭き用タオル □水筒(必要に応じて)		
活動の手順	事前指導	<ol style="list-style-type: none"> 1 チームを編成する。 2 用具を準備する。(プレイホール内用具室) 3 ルールを知る。 <p>【主なルール】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ロープでつながれた2本のゴム鞆をはしご(ラダー)に向かって引っ掛けるというゲームで、投てきをする選手は鞆の片方を持ち、もう一方の垂れ下がった鞆を前後に揺らして飛ばすようにしてアンダーハンドではしごに向けて投げるといったもの。 ②基本的なコートサイズは縦7.5m、横3m。ただし選手の体力やレベルに応じて若干短縮してもよい。 ③得点はロープがはしご引っかけた箇所によって異なり、ノーバウンドの場合、高いところから順に3・2・1点。一旦床にバウンドしてからはしごに引っかけた場合は引っかけた箇所に関係なく5点のボーナス点。 ④どちらかが21点丁度を取って勝利するまで行う。ただし21点をオーバーしてしまうとその投てきにおける獲得点は無効となり、次の投てきの時は前のセットまでの得点に戻して改めて試合を続ける。 ⑤また後攻めのチーム(人)は先攻めのチーム(人)がすでに獲得しているラダーを弾き飛ばして先攻めの得点を帳消しにすることも可能。 ⑥双方ともに21点丁度となった場合、延長戦(サドンデス(ゴールデンゴール)方式)の投てきを行い、先にどちらかが1ポイントでも多くのポイントを獲得すればそのチーム(人)の勝ちとなる。 			
	活動の実際	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームに参加していないチームが審判をする。 ・トーナメント戦またはリーグ戦で行う。 <p>※ルールや判定でトラブルが生じた場合は、その都度話し合って解決していく。</p>			
	事後	<ol style="list-style-type: none"> 1 参加者のけがの有無を確認する。 2 用具の後片付けをする。 3 成績発表や表彰式を行う。(任意) 			
備考	他のニュースポーツと同時に活動し、交替しながら楽しめます。				